

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果について

市では、児童・生徒一人ひとりに、新しい時代に必要となる資質・能力を育成するために、全国学力・学習状況調査を行い、学力や学習の状況を把握して教育指導の充実や学習状況の改善などに活用しています。

今年度は、国語、算数・数学、英語（中学校のみ）が実施されました。
この調査により測定できるのは児童生徒の学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面であることに留意してご覧ください。

■調査日

令和5年4月18日（火）

■対象者

- 小学校6年生
市内9小学校 436人
- 中学校3年生
市内4中学校 437人

■調査内容

- 教科に関する調査
- 生活習慣や学習環境などに関する児童生徒質問紙調査

1 教科に関する調査

■調査科目

国語、算数・数学、英語（中学校のみ）

■調査結果

下表のとおり

- 「平均正答率」欄は、千曲市全体の平均値と全国・長野県の公立小・中学校の平均値を比較しています。
- 「結果の概要」欄は、市全体の状況を中心に記述しています。

調査科目		平均正答率	結果の概要
小学校 6年生	国語	全国・長野県よりやや下回る	・漢字を正しく使うことや、文章を要約することができます。 ・文章を読んで理解したことに基づき、自分の考えを書くことに課題があります。
	算数	全国より下回る・長野県よりやや下回る	・表から変化の特徴を読み取り、知りたい数を求めることができます。 ・割合、分数、百分率、比例などを関連させながら、問題を解くことに課題があります。

調査科目		平均正答率	結果の概要
中学校 3年生	国語	全国・長野県と同程度	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えが伝わるように、根拠を明確にして書くことができています。 ・二つの文章を比較して情報を整理することに課題があります。
	数学	全国・長野県よりやや下回る	<ul style="list-style-type: none"> ・反比例や累積度数の意味を理解できています。 ・図（箱ひげ図）から分布の特徴を読み取る問題や、証明問題を解くことに課題があります。
	英語	全国よりやや下回る ・長野県と同程度	<ul style="list-style-type: none"> ・英語を聞いて、情報を正確に聞き取ることがよくできています。 ・英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えや理由を英語で書くことに課題があります。

2 生活習慣や学習環境などに関する児童生徒質問紙調査

■調査結果

下表のとおり

区分	質問	「はい」と回答した割合 ()は令和4年度		全国との比較
		小学校6年生	中学校3年生	
自己有用感	自分にはよいところがあると思いますか	87.4 (79.4)	83.1 (81.8)	全国と比べて、小6児童、中3生徒とも大変良好な結果となっています。
生活習慣	朝食を毎日食べていますか	96.3 (96.7)	91.1 (95.0)	全国と比べて、小6児童は良好な結果となっています、中3生徒は同様の結果です。
家庭学習習慣	学校の授業以外に、平日1時間以上勉強していますか	52.2 (56.4)	62.4 (71.5)	全国と比べて、小6児童、中3生徒とも振るわない結果となっています。
GIGAスクール	5年生までに（1、2年生のときに）受けた授業でPC・タブレットなどのICT機器を週3回以上使用しましたか	83.0	87.4	全国と比べて、小6児童、中3生徒とも大変良好な結果となっています。
地域とのつながり	今住んでいる地域の行事に参加していますか	78.6 (81.2)	57.7 (68.2)	全国と比べて、小6児童、中3生徒とも大変良好な結果となっています。
	地域をよくするために何かしてみたいと思いますか	75.3 (63.6)	72.8 (51.1)	全国と比べて、小6児童は同様の結果、中3生徒は大変良好な結果となっています。

※『「はい」と回答した割合』は、「1 当てはまる」、「2 どちらかといえば当てはまる」、「3 どちらかといえば当てはまらない」、「4 当てはまらない」の選択肢の中から「1」または「2」を回答した児童生徒の割合

○自己有用感

全国より大変良好な結果となっています。自己有用感は「失敗を恐れなくて挑戦する」といった、子どもたち一人ひとりが将来にわたってよりよく生きていくためのエネルギーともなります。

○生活習慣

「毎日朝食をとる」という基本的な生活習慣は、これまでと同様ほぼ良好な結果ですが、中学生の数値がわずかながら下がりました。

○家庭学習習慣

「学校の授業以外に平日1時間以上勉強していますか」について、小学生・中学生とも全国の結果より振るいませんでした。

○GIGA スクール

全国より大変良好な結果となっており、市のGIGAスクール構想充実にに向けた取り組みの成果が表れています。

○地域とのつながり

全国の結果と比べて良好であり、総合的な学習などでふるさとを学ぶ学習が展開され、地域のありべき姿について考える機会を得ているためと考えられます。

3 今後の対応について

■各学校

- 調査結果を全職員で分析・考察し、これまでの指導の成果と課題を明確にしたうえで具体的な改善策、向上策を講じていきます。また、これらの対応策は、学校経営ビジョンともつなげて、児童・生徒一人ひとりの学力の向上を目指し、全教職員で共有して取り組んでいきます。
- 基本的な生活・学習習慣の確立が学力の定着や向上を図るうえで重要であるとの認識に立ち、家庭と連携して、家庭学習と余暇の過ごし方のバランスが整うような取り組みを進めていきます。
- 児童生徒個々の結果については、個別懇談会などを通じて各ご家庭に伝えるとともに、それぞれの課題に応じた学習指導を適切に行っていきます。

■市学力向上推進委員会

- 市内小中学校の学力向上推進委員が中心となり、今回の結果を分析して「授業改善のポイント」「生活・学習習慣改善のポイント」などを提言し、各校の授業改善、児童生徒の学習習慣の定着に活かします。

■教育委員会

- 市内小中学校の状況を共有するとともに、各校の状況に応じ必要な指導や支援を行います。また、GIGAスクール構想、ふるさと学習をはじめとした教育施策の充実に努めます。